

抗 EID1 抗体, マウスモノクローナル (#2)

71-190 100 µg

保存: 4°Cまたは-20°Cで送付、-20°Cで保存

免疫原: ヒト EID1 タンパク質のアミノ酸 1-19 を含む合成ペプチド

形状: 精製 IgG 1mg/ml in PBS-, 50% glycerol, ろ過滅菌

アイソタイプ: マウス IgG2a κ

反応性: ヒト EID1 タンパク質。他の種は試されてない。

用途:

- 1) ウェスタンブロッティング (~1 µg/ml) 2) ELISA

他の用途は試されてない。

背景: EID1 (EP300 interacting inhibitor of differentiation 1) は 21 kDa のタンパク質で RB1 及び EP300 タンパク質と結合して MYOD1 遺伝子の転写のレプレッサーとして機能する。EID1 は EP300/CBP のヒストンアセチルトランスフェラーゼ活性を阻害する。EID1 は細胞周期の進行の終了と細胞分化に必要な遺伝子の転写制御をカップルさせる機能に関与していると考えられている。

マウスハイブリドーマ (クローン #2) を無血清培地で培養し、弊社独自の方法でマイルドな条件で IgG を精製した。

データリンク: Swiss-Prot [Q9Y6B2](#)

文献:

1. MacLellan WR *et al* "A novel Rb- and p300-binding protein inhibits transactivation by MyoD." *Mol Cell Biol* **20**:8903-8915 (2000) PMID: [11073990](#)
2. Nguyen DX *et al* "Acetylation regulates the differentiation-specific functions of the retinoblastoma protein." *EMBO J* **23**: 1609-1618 (2004) PMID: [15044952](#)

図1 モノクローナル抗体#2 を用いたウェスタンブロッティングによる EID1 タンパク質の検出

コントロールベクター-pCMV1 (lane 1)、または EID1 発現ベクター-pcDNA3/EID1 (lane 2)をトランスフェクションした MCF7(breast cancer cell line)細胞粗抽出液で抗 EID1 抗体クローン#2 を 1 次抗体として、HRP 結合マウス IgG を 2 次抗体として用いたウェスタンブロッティングを行った。

EID1 タンパク質は 21 kDa のタンパク質バンドとして検出された (矢印)。



関連製品 # [71-185](#) anti-EID1 antibody, mouse monoclonal (# 26)

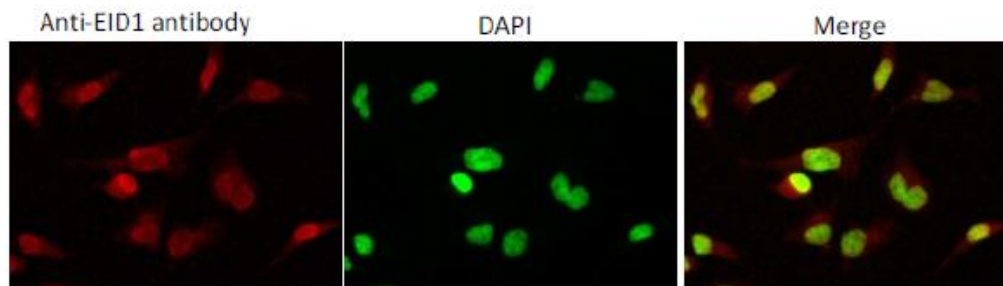


図2. 抗 EID1 抗体 (#2) を用いた関節免疫蛍光染色による HeLa 細胞中の EID1 タンパク質の同定

細胞は 4% paraformaldehyde で固定し、0.25% Triton X-100 で透過処理をした。抗 EID1 抗体は 1/1,000 希釈で使用。二次抗体は Alex 488 で標識したヤギ抗ウサギ IgG 抗体を 1/1,000 希釈して用いた。

DNA は DAPI で染めた。EID1 タンパク質は主として核に局在している。